

近森病院附属看護学校 自己点検・自己評価表

大項目	中項目	課題や解決方法
1.教育目的		教育理念・教育目的は看護学校養成所指定規則(法)との整合性がある。3つのポリシーに本校の求める学生像、カリキュラム内容、卒業時の学生像を示し、教育理念に掲げる看護師としての能力の育成に努めている。これらの教育理念や教育目標が実際の教師の教育活動の指針となるより具体的に明文化を図る必要がある。理念、目的をホームページに掲載し、周知している。
2.教育目標		教育理念・目標と教育内容は一貫性があり、最上位の目標であるディプロマポリシーに基づき学生の到達レベルが明示できている。ディプロマポリシーに掲げる卒業時の到達レベルをより具体的内容とし活用・評価できるよう提示する必要がある。卒業後の継続教育は計画的に取り組む検討を行っている。
3.教育課程経営	教育課程管理者の活動 教育課程編成の考え方とその具体的な構成 科目、単元構成 教育計画 教育課程評価の体系 教員の教育・研究活動の充実 学生の看護実践体験の保障	学校開設後5年目であり新任専任教員が数名いることから教育課程に関する認識を深める必要がある。 教育活動、学生の進捗に合わせた学習の到達度を明確にして教育課程の編成を行っている。また、科目構成や単元構成に関しても根拠を持って構成し、また、本校の特徴に併せた科目設定も行っている。教育計画の周知は「学習の手引き」を作成し提示している。科目配列は非常勤講師の都合で計画とおりに実施できていないことがある。単位認定の基準は学期、履修規程に明示し101単位(3000時間)履修することで卒業認定を受けることができる基準を設けている。評価結果の守秘義務に関する倫理規定は継続して検討していく。限られた教員数での科目担当となるため授業準備時間確保が課題である。専任教員の自己研鑽教育プログラムを作成し研修を実施している。 臨地実習は近森病院を主として実施し学習支援も整っている。
4.教授学習評価過程	授業内容と教育過程との一貫性・看護学としての妥当性・授業内容間の関連と発展 授業の展開過程 目標達成の評価とフィードバック 学習への動機づけと支援	「学習の手引き」に授業内容等を明示し教育課程との一貫性を確保している。各専門領域の授業、実習は体系化され履修規程・実習要項に明示している。科目間や授業間の整合性については分担時間の関係で計画とおり実施できていない科目もある。授業内容に応じて授業形態を工夫しアクティブラーニングを取り入れるなど積極的に実施している。2018年度より教員による授業評価を実施しているが非常勤講師には実施できていない。「学習の手引き」やシラバスは学修への動議付けとなる指導を行っている。
5.経営・管理過程	設置者の意思・指針 組織体制 財務基盤 施設整備 学生生活の支援 情報提供 将来構想 自己評価	学校設立時と同様の教育理念を持って学校経営を行っている。管理者と設置者の考えには一貫性がある。第三者が客観的に把握できる評価方法の検討が必要であるためGPAを取り入れる予定である。意思決定システムは明確で、学校運営会議で決議する決定事項は教職員に周知できるシステムとなっている。年間決算予算を学校運営会議等で提示しているが、教職員への周知や理解は不十分である。学習・教育環境は十分満たされている。防災マニュアル等は最新の情報に修正していく必要がある。学生の生活支援は、担任制やアドバイザー制度を活用し学生個々に応じた支援対策を実施している。学校の情報は時期に応じて実施している。長期的な将来構想を探っている。自己点検・自己評価委員会を稼働させ、評価項目の見直し、客観的評価に対応するデータの明確化を実施自己点検・評価を実施した。
6.入学・広報活動	入学 広報活動	アドミッションポリシーとの一貫性をもって入学者選抜を実施している。入学生用パンフレットは年1回見直しを行い、ホームページでの閲覧や資料請求ができる仕様になっている。 学生募集広報の方法は高校訪問やオープンキャンパス、進学相談会などを策定し活動している。一定の参加者の確保はできている。
7.卒業・就業・進学		卒業時の到達状況調査は卒業学年を対象に実施している。卒業時の到達結果をもとに本校の課題を明確にし、教育展開に活用する。 就職先での卒業生の評価の把握の為、継続した卒業生の情報・動向把握に努め、就職先と綿密な連携を図る。特に近森会グループからの情報収集を計画的・綿密に行う。1期生の卒業後フォローはケーススタディの相談や学校施設の開放を実施している。
8.地域社会活動	地域社会	積極的に地域社会の動向を把握し地域社会に貢献できる人材の育成をに努めている。高知県下への就職率は90%以上を占め社会への貢献が十分できている。ボランティア活動への支援要請があった場合、学生に伝達し積極的参加を呼びかけている。また、学園祭(学生自治会主催)を開催し、地域住民に参加を呼びかけている。
9.研究		専任教員のFD年間計画に研究活動を計画し研究実施・発表・論文作成できる体制を整えている。専門学校の場合、専任教員は教育活動が主であり時間的な余裕のないことが多く研究活動が活発とはいえない。教員の研究に対する必要性の認識は高い。